

2020

4年 ソフトバレーボール

松戸市立八ヶ崎小学校

ソフトバレーボールは・・・

軽くて柔らかいボールを使用し、ネットを挟んで仲間や相手と手を使ってボールをはじき、ラリーを続けたり、得点を競ったりして楽しむネット型のゲームである。

児童から見ると・・・

○けがが少なく安全である。

○攻守分離型でプレイ中の状況判断や仲間との連携が分かりやすい。

➡ **親しみやすい**

○チームの仲間意識や規範意識が生まれやすい。

▲得意な児童ばかりが活躍したり、自分のミスが直接失点につながったりする。

▲ゲーム中に解決すべき課題やその解決方法が分からない。

➡ **苦手意識につながってしまう**

学習カード

学習財
(教材)

学習過程

本校では・・・

☆ **たくさん得点を決めるために役割を決めることのよさを知り、皆が楽しめるような規則や簡単な作戦を選びながら公正な態度でゲームに取り組み、自陣でボールをつないで攻撃を組み立てることができるようにする。**

《規則》

☆始めから提示する規則⇒**シンプルなものにする。**

- ・ 6分間
- ・ 3対3
- ・ サーブは、得点をしたチームが交代で行う。
- ・ サーブは、相手コートに下から投げ入れる（サーブによる得点は、なし）。
- ・ 一人1回ボールを触り、相手コートへ返球する。
- ・ 一人目と二人目は、キャッチする。
- ・ キャッチ後、動いてはいけない。
- ・ 味方へのパスは、両手で投げる。
- ・ 三人目は、片手もしくは両手でアタックする。
- ・ フロックは、なし。
- ・ 毎得点后、両チームとも時計回りにローテーションをする（控えも含む）。

★追加の可能性のある規則

⇒**児童の思いや気付き、困り感に応じて教師が提案し、合意形成を図った上で追加する。**

児童の思いや気付き、困り感	追加の規則	個人やチームのメリット
一部の人しかアタックしていない。皆がアタックを決められるようにしたい。	その人にとって、その日最初のアタックを決めたら、2点とし、帽子を赤にする。	アタックを決めていない（白帽子の）味方にトスをするようになる。
チームで協力して、たくさん得点できるようにしたい。	全員が赤帽子になったら、プラス5点とする。	全員得点への意識が高まり、協力がより生まれるようになる。
誰がアタックをするかわからないようにしたい。まだアタックを決めてない味方にアタックをさせたい。	一人2回ボールを触って、相手コートへ返球してもよい（連続で触ってはいけない）。	相手をだます動き（役割）が生まれ、攻撃の幅が広がる。アタックを決めていない（白帽子の）味方にトスをするようになる。

※単元前半では、知識・技能を獲得し、規則を工夫しながら安定した攻防ができるようにする。

単元後半では、簡単な作戦を選択・実行することができるようにする。

《教具・用具》

- ・ボール（当たっても痛くない・落下速度が遅い）



MIKASA 教育用ソフトバレーボール
（ビニールタイプ）50g SOFT50G

- ・ネット（皆がアタックを決められる高さ）

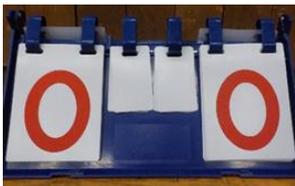


可動式。児童の手を伸ばしたときの高さを踏まえ、ネットの高さを150cmに設定した。

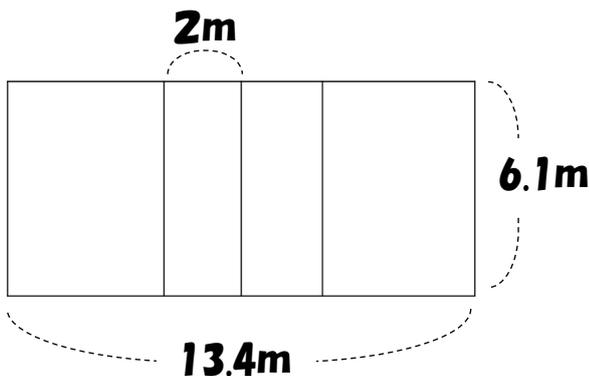
【使用したもの】

- ・塩ビ管 2本
（高さ150cmのところにネットとなるビニール紐とススランテーフを、先端に保護材を付けた。）
- ・塩ビ管用の重り 2つ
- ・先を切ったコーン 2つ
- ・コーン用の重り 2つ

- ・得点板



《コート》（空いているところをねらえる広さ）



バドミントンコート（13.4m×6.1m）。ネットから2mのラインからサーブを行う。1チームの人数を少なくし、運動機会を保障するために、4コートで行った。

《チームで使用するかごの中身》



- ・水筒
- ・マスクを入れる袋



- ・学習カード（ファイルに綴じている）
- ・作戦ボード ・マーカーペン
- ・ポケットファイル
（作戦カード、ルール《規則》、授業で掲示した写真等）

教具の作り方や材料の値段などについては、本校までお問い合わせください。

《指導計画（9時間）》

時間	1（はじめ）	2	3	4	5	6（なか）	7	8（本時）	9（おわり）	
	知識・技能の獲得、安定した攻防					簡単な作戦の選択・実行				
0 7 10 17 30 37 45	オリエンテーション ・単元を通した学習のねらい ・ゲームの行い方の説明 ・学習のルール ・用具の扱いについて ・試しのゲーム ・課題をつかむ (チームの課題)	・あいさつ ・準備 ・ウォーミングアップ ・健康観察								
		・課題確認 ・作戦の確認（※6時間目以降）								
		ゲーム① リーグ戦	ゲーム① 練習試合	ゲーム① リーグ戦						
		<課題解決学習> 教師が動き方のポイントを押さえて指導する。 <予想される課題> アタック、トス <予想される練習方法> 二人組でのアタック練習				<課題解決学習> 教師が示した練習方法の中から解決方法を児童が選択又は考案できるようにする。 <予想される課題> 連携した攻撃、簡単な作戦の選択・実行 <予想される練習方法> ゲーム形式の作戦練習				
		ゲーム② リーグ戦	ゲーム② 練習試合	ゲーム② リーグ戦						
	・反省（学習カード記述）※単元のはじめ（1時間目）、なか（6時間目）、おわり（9時間目）については、記述内容の変容を見取るため記述時間を5分とし、それ以外は3分とする。 ・まとめ ・クールダウン ・片付け ・あいさつ									
評価の重点	知識・技能	①ゲームの行い方を知る	②アタックをする	③パスやトスをする			④体を向ける、移動する			
	思考・判断・表現				①規則を選ぶ	③考えを伝える		②作戦を選ぶ		
	主体的に学習に取り組む態度	①進んで取り組む	⑤安全を確かめる		②仲よく取り組む	④考えを認める			③勝敗を受け入れる	

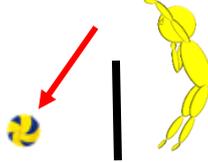
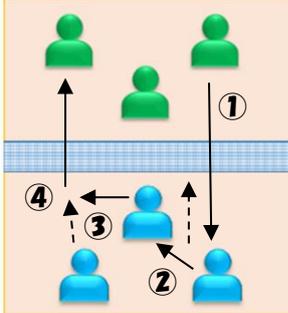
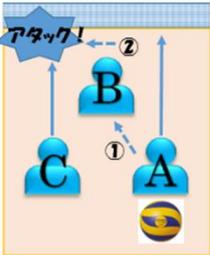
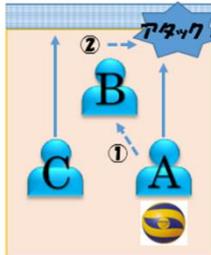
《単元の目標》

知識及び技能	ゲームの行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

《体育の学力(評価規準)》

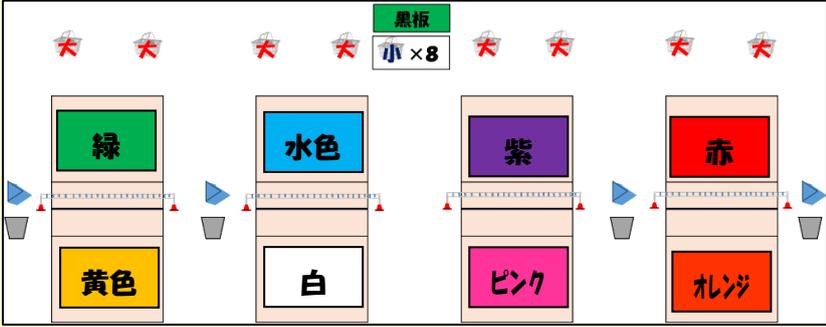
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①ソフトバレーボールの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②いろいろな高さのボールを片手、又は両手ではじいたり、打ちつけたりして、相手コートへ返球することができる。 ③味方にパスやトスをすることができる。 ④ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①攻めを行いやすくするなどの規則を選んでいる。 ②ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。 ③味方にトスしたり、ボールを操作しやすい位置に移動したりするときの工夫を友達に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ③勝敗を受け入れようとしている。 ④友達の考えを認めようとしている。 ⑤場や用具の安全を確かめている。

《課題解決のために必要と予想される練習方法》

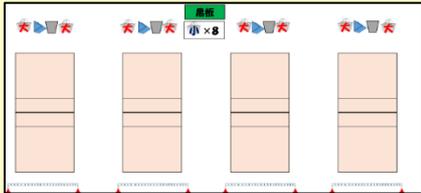
<p>①</p>	<p>二人組でのアタック練習</p>	<p>二人組で行う。一人は、もう一人がアタックしやすいトスを上げる(セッター)。もう一人は、助走をとらずにその場でジャンプしてアタックする。アタックしやすいトスを上げる技能やジャンプしてアタックする技能を身に付けることを目的とする。</p> 
<p>②</p>	<p>アタックゲーム</p>	<p>ペアチームで行う。相手からの返球をキャッチした場面からの攻撃を想定して行う(予めレシーバーを決めておき、その人へボールを投げる)。パスやアタック、ネット際への動きなど、テンポのよい攻撃を組み立てるための技能を身に付けることを目的とする。 [下図は一例。実線(→)はボールの動き、点線(---→)は人の動き。]</p> 
<p>③</p>	<p>ゲーム形式の作戦練習</p>	<p>ペアチームで行う。作戦(一人一人の役割行動)を確認したり、作戦を成功させるための技能を身に付けたりすることを目的とする。 [下図は一例。実線(→)はボールの動き、点線(---→)は人の動き。]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="619 1384 829 1639">  <p>「A-B-C作戦」</p> </div> <div data-bbox="976 1384 1187 1639">  <p>「A-B-A作戦」</p> </div> </div>

展開 1 (1時間目 オリエンテーション)

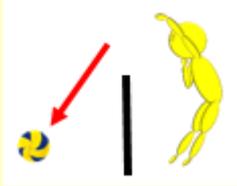
- 「やってみたい」「自分にもできそうだ」という思いをもって単元が始められるようにする（※教材との出会いを大切にする）。
- 単元を通してのねらいを伝え、学習のめあてをもつことができるようにする。
- 場づくりや用具の扱い方について指導する。
- ソフトバレーボールの学習におけるルールを指導する（※複雑すぎないようにする）。

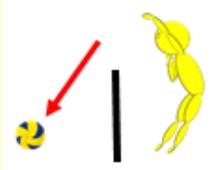
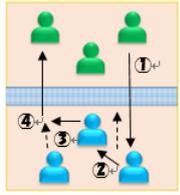
時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
20	あいさつ 健康観察 オリエンテーション 課題確認 学習の場、用具の準備をする	<ul style="list-style-type: none"> • 学習カードを持って整列し、マスクを着けた状態であいさつをする。 ○集合場所、並び方、服装、持ち物の置き場所について確認する。 • ビブスはズボンにしまう。  <ul style="list-style-type: none"> ○顔色を観る。 <ul style="list-style-type: none"> • モデルとなる映像（ゲームの様子）を観て、ゴールイメージをつかむ。 • 映像を観た後、「やってみたいこと」や「目指す姿」について学習カードに記述する。 • 記述後に数人が発表し、全体で共有する。 ○「仲間と協力してボールをつなぎ、得点を取る喜びを味わってほしい。」といった、ソフトバレーボールの学習を通じた教師の思いや願いを伝える。 • 単元を通じた学習の課題を知る。 • 学習の内容やねらい、進め方を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ソフトバレーボールの学習を楽しむためには、どんなことが上手になればよいのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○本時では、ゲームを通してチームや個人の課題を見付けることが学習課題であることを伝える。声や気合いなどの態度面でなく、トスやアタック、キャッチといった技能面の課題を見付けるようにすることを確認する。 • チームのリーダーは、メンバーの学習カードを集め、かごに入れてくる。  <ul style="list-style-type: none"> ○コート設営のイメージがつかめるよう、本時（1時間目）では教師がある

15	ウォーミングアップ(ボール慣れの運動を含む)	<p>程度準備しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習を行うホームコートやペアチームについて確認する。 ・ネットやボール、得点板の運ぶ場所・運び方を確認し、1コートのみ実際に準備をする。 <p>○得点板とボールの入った袋は、コートから離しておくように指導する。</p> <p>○ボールを使わないときには、必ず袋の中に入れておくように指導する。</p> <p>○塩ビ管用の重りは重たいので、特に気を付けるように指導する。</p> <p>○塩ビ管の先の保護材が正しく付いているか確認するように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が何を準備（片付け）するのかを決める。 <p>・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。</p> <p>○単元を通して教師のかけ声に合わせてウォーミングアップをするため、広がり方や内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールで特に使う部位（手の指、手首、肩、足首、アキレス腱など）を十分ほぐす。 ・ボール慣れの運動をする（ボールをはじく・捕るなど）。
	試しのゲームについての説明	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けて説明を聞く。 <p>○試しのゲームはペアチームと2試合行うことを説明する。</p> <p>○ゲームの規則について、以下の内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6分間 ・3対3 ・サーブは、得点をしたチームが交代で行う。 ・サーブは、相手コートに下から投げ入れる。 ・サーブによる得点は、なし。 ・一人1回ボールを触り、相手コートへ返球する。 ・一人目と二人目は、キャッチする。 ・キャッチ後、動いてはいけない。 ・味方へのパスは、両手で投げる。 ・三人目は、片手もしくは両手でアタックする。 ・ブロックはなし。 ・毎得点後、両チームとも時計回りにローテーションをする（控えも含む）。 <p>○コート図を用いながら、視覚的に理解することができるようにする。</p> <p>試しのゲーム①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。 <p>○ゲームを始める前と終わった後のルールについて、以下の内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンドラインに全員並ぶ。 ・笛の合図で「お願いします。」とあいさつをする。 ・ソーシャルディスタンスに配慮しながら、円陣を組んで気合を入れる。

10	ルール確認	<ul style="list-style-type: none"> ・準備ができたコートからゲームを始める。 ・笛の合図で試合終了（ゲーム①終了後は、あいさつをしない。ゲーム②の終了後は、エンドラインに全員が並ぶ。その後、笛の合図で「ありがとうございました。」とあいさつをする。） <p>○ゲーム①終了後、水分補給をするよう指示をする。その際、チームで試しのゲーム①を簡単に振り返るよう指示をする。</p> <p>○マスクを着けて整列するよう指示をする。</p> <p>○ゲーム①を終えて、主にルールで困ったことについて、全体で確認する。</p>
	試しのゲーム②	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。 <p>○ゲーム②終了後、水分補給をしてからチームごとに円になって振り返りを行うよう指示をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのリーダーは、学習カードを持ってきて、メンバーに配る。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着け、チームごとに円になって行う。 <p>①本時のめあてやゲームの状況、愛好度、成就感について簡単な選択式で回答（記入）する。</p> <p>②回答したことを基に、チームの成果や課題について話し合う。</p> <p>○チームで「うまくいったこと」と「うまくいかなかったこと」について、チームで話し合いながら振り返るよう指導する。</p> <p>③話し合ったことを踏まえ、個人の成果や課題について記述する。</p> <p>○チームの課題を受けて、個人として「何が」「どのように」上手になればよいのかを記述するよう支援しながら回る。</p>
	まとめ	<p>○学習カードを持って整列するよう指示をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームや個人の成果・課題について、全体で共有する。 <p>○ゲームで勝つためにはたくさん得点を取る必要があることに気付くことができるように指導する。また、トスやアタックといった攻撃に関する課題意識をもつことができるように、発問の仕方に気を付ける。</p>
	クールダウン	<p>○けがの有無を確認するとともに、使った部位を中心にほぐすよう指導する。</p>
	片付け	<p>○安全に留意し、役割分担をして素早く片付けるように指導する。</p> 
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けた状態であいさつをする。 	

展開2 (2~5時間目)

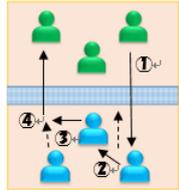
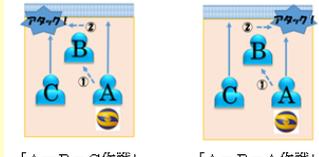
時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
7	あいさつ 学習の場，用具の準備 ウォーミングアップ(ボール慣れの運動を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・整列し，マスクを着けた状態であいさつをする。 ○素早く安全に気を付けて準備ができるよう声をかける。 ・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。 ・ソフトバレーボールで特に使う部位（手の指，手首，肩，足首，アキレス腱など）を十分ほぐす。 <p>【二人組でのアタック練習】</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>二人組で行う。一人は，もう一人がアタックしやすいトスを上げる（セッター）。もう一人は，助走をとらずにその場でジャンプしてアタックする。アタックしやすいトスを上げる技能やジャンプしてアタックする技能を身に付けることを目的とする。</p> </div>
	健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けて整列する。 ・チームのリーダーは，学習カードを持ってきて，メンバーに配る。 ○顔色を観る。
31	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読んで，見通しをもってからゲームに臨むことができるようにする。 ○前時の学習内容が確認できるよう，よく書けていた学習カードを拡大したものを全体で紹介する。 <p>< 2時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">仲間がアタックしやすいトスは，どのようなトスだろうか。</div> <p>< 3時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アタックを決めるには，どうすればよいだろうか。</div> <p>< 4時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">後ろからのトスにならないようにするには，どうすればよいだろうか。</div> <p>< 5時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手が守りにくい攻撃をするには，どうすればよいだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○拡大した写真や図を用いて，ゲーム状況場面を確認することができるようにする。

	<p>作戦会議</p> <p>ゲーム①</p> <p>課題解決学習</p> <p>ゲーム②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにしたら、本時のめあてを達成することができそうかを予想し、全体で共有する。 ○追加するルールがあれば、全体で確認する。 ○チーム内での役割分担を明確にしてから、試合に取り組むことができるように指導する。 ・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。 ○一生懸命活動することができている児童やチームを称賛する。 ○よいプレイがあったときには、何がよかったのか具体的に声をかけるようにする。 ○素早く行動してたくさん活動することができるよう、声をかけて回る。 ・ゲーム①終了後、水分補給をしてからチームでゲーム①を簡単に振り返る。 ・マスクを着けて整列する。 ○ゲームの前に確認した状況があったのかどうか、また、そのようなときにどうしたのかを全体で共有する。また、新たに明らかになった課題についても時間があれば確認する。 ○児童の課題に応じて、教師が練習方法を紹介する。 <p style="text-align: center;">【二人組でのアタック練習】</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ペアチームで行う。相手からの返球をキャッチした場面からの攻撃を想定して行う(予めレシーバーを決めておき、その人へボールを投げる)。パスやアタック、ネット際への動きなど、テンポのよい攻撃を組み立てるための技能を身に付けることを目的とする。</p> <p>【下図は一例。 実線(→)はボールの動き、点線(---→)は人の動き。】</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">【アタックゲーム】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○「なぜうまくいったのか、うまくいかなかったのか」を確認しながら練習するように指導する。 ・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。 ○練習が停滞しているチームやゲームに負けているチームへ積極的に声をかけ、支援するようにする。 ○練習を生かしたプレイをする児童や皆で喜びを共有するチームを積極的に称賛する。
--	---	---

7	反省	<p>○ゲーム②終了後、水分補給をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのリーダーは、学習カードを持ってきて、メンバーに配る。 ・マスクを着け、チームごとに円になって行う。 <p>①本時のめあてやゲームの状況、愛好度、成就感について簡単な選択式で回答（記入）する。</p> <p>②回答したことを基に、チームの成果や課題について話し合う。</p> <p>○チームで「うまくいったこと」と「うまくいかなかったこと」について、チームで話し合いながら振り返るよう指導する。</p> <p>③話し合ったことを踏まえ、個人の成果や課題について記述する。</p> <p>○チームの課題を受けて、個人として「何が」「どのように」上手になればよいのかを記述するよう支援しながら回る。</p>
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを持って整列する。 ・チームや個人の成果・課題について、全体で共有する。 <p>○本時のめあてに対して、他のチームがどのように振り返りをしているのかを知ったり、それを踏まえて新たな課題に気付いたりすることができるよう、各チームの課題を全体で共有する。</p> <p>○「最後まで諦めず協力してゲームをしていたチーム」や「練習の成果を発揮し、ゲームで成長した姿が見られたチーム」を全体の前で称賛し、勝ち負けに関係なく、学習を価値付けられるようにする。</p>
	クールダウン	<p>○けがの有無を確認するとともに、使った部位を中心にほぐすよう指導する。</p>
	片付け	<p>○素早く安全に気を付けて片付けができるよう声をかける。</p>
	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けた状態であいさつをする。

展開3 (6時間目～9時間目)

時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
7	あいさつ	・整列し、マスクを着けた状態であいさつをする。
	学習の場、用具の準備	○素早く安全に気を付けて準備ができるよう声をかける。
	ウォーミングアップ(ボール慣れの運動を含む)	・マスクを外して運動する(外さなくてもよい)。 ・ソフトバレーボールで特に使う部位(手の指、手首、肩、足首、アキレス腱など)を十分ほぐす。 ・ボール慣れの運動をする(二人組でのアタック練習など)。
	健康観察	・マスクを着けて整列する。 ・チームのリーダーは、学習カードを持ってきて、メンバーに配る。 ○顔色を観る。
31 (29)	課題確認	<p>・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読んで、見通しをもってからゲームに臨むことができるようにする。</p> <p>・前時の学習内容が確認できるよう、よく書けていた学習カードを拡大したものを全体で紹介する。</p> <p>< 6時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>たくさん得点を取るために、チームで作戦を選んでこうげきしよう。</p> </div> <p>< 7時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>作戦を成功させるために、アタックもトスもしない人はどうすればよいだろうか。</p> </div> <p>< 8時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>たくさん得点できる作戦を見つけよう。</p> </div> <p>< 9時間目 ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>チームの得意な作戦を成功させるには、どうすればよいだろうか。</p> </div> <p>○拡大した写真や図を用いて、ゲーム状況場面を確認することができるようにする。</p> <p>・どのようにしたら、本時のめあてを達成することができそうかを予想し、全体で共有する。</p> <p>○追加ルールがあれば、全体で確認する。</p>

	<p>作戦会議</p> <p>ゲーム①</p> <p>課題解決学習</p> <p>ゲーム②</p> <p>7 (9) 反省</p>	<p>○チーム内での役割分担を明確にしてから、試合に取り組むことができるように指導する。</p> <p>・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。</p> <p>○一生懸命活動することができている児童やチームを称賛する。</p> <p>○よいプレイがあったときには、何がよかったのか具体的に声をかけるようにする。</p> <p>○素早く行動してたくさん活動できるように、声をかけて回る。</p> <p>・ゲーム①が終了後、水分補給をしてからチームでゲーム①を簡単に振り返る。</p> <p>・マスクを着けて整列する。</p> <p>○ゲームの前に確認した状況があったのかどうか、また、そのようなときにどうしたのかを全体で共有する。また、新たに明らかになった課題についても時間があれば確認する。</p> <p>・チームの課題に応じて、練習方法を選択・考案して行う。</p> <p>【アタックゲーム】</p>  <p>【実戦形式での作戦練習】</p>  <p>「A-B-C作戦」 「A-B-A作戦」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ペアチームで行う。作戦（一人一人の役割行動）を確認したり、作戦を成功させるための技能を身に付けたりすることを目的とする。</p> <p>【下図は一例。実線（→）はボールの動き、点線（---▶）は人の動き。】</p> </div> <p>○「なぜ作戦が成功したのか、成功しなかったのか」を確認しながら練習するように指導する。</p> <p>・マスクを外して運動する（外さなくてもよい）。</p> <p>○練習が停滞しているチームやゲームに負けているチームへ積極的に声をかけ、支援するようにする。</p> <p>○練習を生かしたプレイをする児童や皆で喜びを共有するチームを積極的に称賛する。</p> <p>○ゲーム②終了後、水分補給をする。</p> <p>・チームのリーダーは、学習カードを持ってきて、メンバーに配る。</p> <p>・マスクを着けて、チームごとに円になって行う。</p> <p>①本時のめあてやゲームの状況、愛好度、成就感について簡単な選択式</p>
--	---	---

	<p>まとめ</p> <p>クールダウン</p> <p>片付け</p> <p>あいさつ</p>	<p>で回答（記入）する。</p> <p>②回答したことを基に，チームの成果や課題について話し合う。</p> <p>○チームで「うまくいったこと」と「うまくいかなかったこと」について，チームで話し合いながら振り返るよう指導する。</p> <p>③話し合ったことを踏まえ，個人の成果や課題について記述する。</p> <p>○チームの課題を受けて，個人として「何が」「どのように」上手になればよいのかを記述するよう支援しながら回る。</p> <p>・学習カードを持って整列する。</p> <p>・チームや個人の成果・課題について，全体で共有する。</p> <p>○本時のめあてに対して，他のチームがどのように振り返りをしているのかを知ったり，それを踏まえて新たな課題に気付いたりすることができるよう，各チームの課題を全体で共有する。</p> <p>○「最後まで諦めず協力してゲームをしていたチーム」や「練習の成果を発揮し，ゲームで成長した姿が見られたチーム」を全体の前で称賛し，勝ち負けに関係なく，学習を価値付けられるようにする。</p> <p>○単元の「おわり（9時間目）」では，単元を通して一人一人やチームが成長したこと（技能面と態度面の両方）を全体に伝えることで学びの過程を価値付け，学習したことをこれからの学習や生活に活かしていこうと方向付けることができるようにする。</p> <p>○けがの有無を確認するとともに，使った部位を中心にほぐすよう指導する。</p> <p>○素早く安全に気を付けて準備ができるよう声をかける。</p> <p>・マスクを着けた状態であいさつをする。</p>
--	---	--

《評価に際する判定基準》

< 1時間目 >

体育の学力 (評価規準)	知識・技能①	主体的に学習に取り組む態度①
評価場面	反省	試しのゲーム②
評価方法	話し合い、学習カード	観察
判定基準	A ソフトバレーボールの行い方について、 <u>具体的な場面を想定しながら、詳しく友達や教師に伝えたり学習カードに書いたりしている。</u>	<u>ゲームに自分が出ているときも、出ていないときも、進んで取り組もうとしている。</u>
	B ソフトバレーボールの行い方について、 <u>言ったり書いたりしている。</u>	ゲームに進んで取り組もうとしている。
	C ソフトバレーボールの行い方について、「 <u>分からない</u> 」と <u>言ったり書いたりしている。</u> → <u>分からず困ったことについて、コート図等の掲示物を使いながら一緒に確認する。</u>	ゲームに進んで取り組もうとしていない。 →コート図等の掲示物を使いながら規則を一緒に確認したり、励ましの声をかけたりする。

< 2時間目 >

体育の学力 (評価規準)	主体的に学習に取り組む態度⑤
評価場面	準備 (片付け)
評価方法	観察
判定基準	A <u>周囲の友達に声をかけながら、場や用具の安全を確かめている。</u>
	B 場や用具の安全を確かめている。
	C 場や用具の安全を確かめていない。 → <u>場や用具を確かめることの大切さを伝えた上で、友達と協力して場や用具の安全を確かめるように声をかける。</u>

< 3時間目 >

体育の学力 (評価規準)	知識・技能②	
評価場面	ゲーム②	
評価方法	観察	
判定基準	A	いろいろな高さのボールを自分の頭の上に手を伸ばした状態から少し前で片手、又は両手ではじいたり、打ちついたりして、相手コートへ強く返球することができる。
	B	いろいろな高さのボールを片手、又は両手ではじいたり、打ちついたりして、相手コートへ返球することができる。
	C	相手コートへ返球することができない。 →両手でアタックしてみるよう声をかけたり、手のひらでボールの中心を打つよう指導したりする。

< 4時間目 >

体育の学力 (評価規準)	知識・技能③	
評価場面	ゲーム②	
評価方法	観察	
判定基準	A	味方が捕りやすいパスやネットより高くやさしいトスを安定してすることができる。
	B	味方にパスやトスをすることができる。
	C	上から投げる等、味方のことを考えたパスやトスをすることができない。 →味方にどのようなパスやトスをしてもらったら自分がプレイしやすいのかを確認し、パスは胸あたりをわらって下からやさしく、トスはネットより高く下からやさしくするように声をかける。

< 5時間目 >

体育の学力 (評価規準)	思考・判断・表現①	主体的に学習に取り組む態度②
評価場面	課題解決学習	ゲーム②
評価方法	話し合い, つぶやき, 学習カード	観察
判定基準	A 攻めを行いやすくするなどの規則を, <u>具体的な状況場面を例にしたり, 理由付 けたりしながら選んでいる。</u>	常に規則を守り, 誰とでも仲よくし ようとしている。
	B 攻めを行いやすくするなどの規則を 選んでいる。	規則を守り, 誰とでも仲よくしよ うとしている。
	C 攻めを行いやすくするなどの規則を 選ぶことができない。 →選択肢となる規則とそれを取り入れ たときのよさを教師と共に確認した 上で選ぶことができるようにする。	規則を守らず, 味方や相手と仲よくし ようとしていない。 →フェアプレイの大切さや試合の前後 でのあいさつ・円陣の意味を話した り, お互いによいプレイを称賛し合う よう声をかけたりする。

< 6時間目 >

体育の学力 (評価規準)	思考・判断・表現③	主体的に学習に取り組む態度④
評価場面	課題解決学習	ゲーム②
評価方法	話し合い, 学習カード	観察
判定基準	A 味方にトスしたり, ボールを操作しや すい位置に移動したりするときの工夫 を, <u>具体的な状況場面を例にしたり, 理由付けたりしながら友達に伝えている。</u>	友達の考えを認め, <u>進んで取り入れな がらプレイしようとしている。</u>
	B 味方にトスしたり, ボールを操作しや すい位置に移動したりするときの工夫 を友達に伝えている。	友達の考えを認めようとしている。
	C 味方にトスしたり, ボールを操作しや すい位置に移動したりするときの工夫 を友達に伝えることができない。 →考えを伝えやすくできるよう, 教師が チームに入り, 発問をしながら支援を 行う。	友達の考えを認めようとしていない。 →ゲームの状況場面を想定しながら友 達の考えのよさを確認したり, 互いの 考えを認め合うことのよさを伝えたり する。

< 7時間目 >

体育の学力 (評価規準)	知識・技能④	
評価場面	ゲーム②	
評価方法	観察	
判定基準	A	ボールの方向に常に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に素早く移動したりすることができる。
	B	ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。
	C	ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができない。 →ボールの方向におへそを向けながらフレイするよう声をかけたり、どの位置だとアタックやトスがしやすいのかを確認したりする。

< 8時間目 >

体育の学力 (評価規準)	思考・判断・表現②	
評価場面	課題解決学習	
評価方法	話し合い、つぶやき、学習カード	
判定基準	A	ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦の中からチームに合ったものを選んだり、たくさん得点できる理由を具体的に学習カードに記述したりしている。
	B	ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選んでいる。
	C	ボールを持っている人と持っていない人の役割を踏まえた作戦を選ぶことができない。 →それぞれの作戦における一人一人の役割とその動きを確認してから作戦を選ぶよう声をかける。

< 9時間目 >

体育の学力 (評価規準)	主体的に学習に取り組む態度③	
評価場面	ゲーム②	
評価方法	観察	
判定基準	A	常に勝敗を受け入れようとしている。
	B	勝敗を受け入れようとしている。
	C	相手のプレイやその判定に納得ができず、勝敗を受け入れようとしていない。 →何について納得ができないかを共感的に聞いた上で、判定に従うことやフェアプレイの大切さについて伝える。